

## 政務活動費調査研究報告書

会派名 市民の会

氏名 大塚正俊

日 程	令和 6 年 7 月 11 日（木）午前 10 時～11 時 30 分
場 所	北海道札幌市図書・情報館
相 手 方	札幌市教育委員会中央図書館利用サービス課図書・情報館 副館長 嶋田 直美
参加議員 氏 名	大塚正俊、千木良孝之、須賀要子、木佐貫佳子
目 的	札幌市の貸し出さない図書館「札幌市図書・情報館」の現地調査を行い、『ビジネスや様々な課題解決に役立つ情報』を提供する課題解決型図書館のコンセプトや訪れたいくなる運営の方策を探る。
内 容	<p>■視察概要</p> <p>1. 貸し出さない図書館「札幌図書・情報館」について</p> <p>2018年10月7日、「札幌市図書・情報館」は、まちなかの複合施設である札幌市民交流プラザの1・2階にオープンしました。</p> <p>従来の図書館では禁止されることが多かった「飲み物の持ち込み」や「おしゃべり」も大丈夫となっています。</p> <p>「はたらくをらくにする」をコンセプトに、ビジネスパーソンに寄り添ったさまざまな情報が入手できる新しいタイプの図書館です。</p> <p>1階にはカフェが隣接しており飲食を楽しみながら読書ができます。北海道や札幌の魅力を伝える本が揃った開放的な空間です。</p> <p>2階は各コーナーが三角形で構成されていることで、フロア全体が見渡せるようになっています。この特徴的な作りは、1200㎡ほどの公共図書館では狭いとされる面積を最大限に生かす工夫の一つです。</p> <p>ノマドワーク用のワーキング席やリーディング席、グループ席などがあり、さまざまな目的で利用できます。利用料は90分/回が無料となっています。</p> <p>多くの図書館では「日本十進分類法」により、10の分類に分けて本棚が陳列されています。しかし「札幌市図書・情報館」は「WORK」「LIFE」「ART」による3つのエリアで構成されているのが大きな特徴です。</p>

【WORK】 マーケット情報、起業、資格取得などの仕事に役立つ情報

【LIFE】 医療・健康、法律などの暮らしを助ける情報

【ART】 舞台芸術、現代アートなど、芸術に関する情報

全ての本は「働くこと」を意識して選ばれ、コンセプトに合わない小説や絵本のコーナーは存在しません。(札幌中央図書館等の既設図書館に配置している。)

通常は複数人で1つの本棚を構成しますが、「札幌市図書・情報館」では1つの本棚は1人の司書が担当しています。本棚に並べる本を選ぶとき、初代館長の浅野さんが司書にリクエストしたのは、「悩んでいる友人に紹介するような本棚」を作ること。

例えば、家族の病気を調べに来た人のために、近くに治療費やメンタルケアなど、関連する本を置くことで、あちこち探さなくても必要な情報を得られるようにという思いが込められています。他にも、司書が選んだ本が期間限定で紹介される「ハコニワ」コーナーや、思わず本を手に取りたくなるメッセージも置かれています。

人気の本は、1人に2週間貸し出すと、年間でたった26人しか読めません。しかし、館内で読むルールなら1日に何人も読むことが可能となり、なかには3ヶ月で80回以上読まれた本もあるそうです。本の貸し出しをしないことは、情報をより多くの人とシェアするため、利用者目線になって考えられた改善策だそうです。

「札幌市図書・情報館」は、働く人へ寄り添った環境づくりにこだわっています。無料のWi-Fiや電源が使えるワーキング席はノマドワークに最適です。ノマドワークで困りがちな大人数の打ち合わせもミーティングルームでできます。5人以上で予約可能な個室で電源もあるため、パソコンを使いながらの利用も可能です。

不定期で開催されるセミナーやトークイベントも人気です。内容は本棚とリンクしていることが必須条件で、セミナー参加後すぐに情報を得ることができます。

専門の人から情報を得られる相談窓口として、起業・法律・経営などの専門機関による出張相談を定期的で開催しています。

新聞・雑誌記事、法令・判例、医学文献、市場調査情報など24種のデータベースを無料で使えます。

起業等で悩める人に手を差し出し、夢を叶えるための力強い伴走者になっています。

・来館者数；100万人/年間

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書；16人、事務職；7人</li> <li>・蔵書数；約35,000冊 ※新聞；約90種、雑誌；約600種をそろえる。</li> <li>・年間運営費；約1億3000万円</li> <li>・書籍購入費；2,000万円/年間（年間20%の図書を入れ替え） ※開設時に図書を約1億円購入</li> <li>・延べ面積；1,500㎡程度</li> <li>・席数；1階約30席、2階約170席</li> <li>・開館時間は平日午前9時～午後9時、土日午前10時～午後6時。</li> </ul>
成 果	<p>「札幌図書・情報館」は、「はたらくをらくにする」をコンセプトに、働く人々が「あったらいいな」と思っていることが集まる、ビジネスパーソンに寄り添った施設です。設定されたテーマごとに書籍が並べられており、欲しい情報をその場で手に入れることができます。中津市においても既存の「日本十進分類法」による本棚の陳列からテーマごとに変更できないか検討したいと考えます。</p> <p>また、ビジネス書を中心に新刊が多く、書店なみに書籍が揃っており、図書購入予算の拡充と選書方針の見直しが必要と考えます。</p> <p>今、書籍を所蔵・管理し、貸し出す図書館から脱却し、地域コミュニティの醸成や課題解決の支援などを行う図書館が増えてきています。その一つが「札幌市図書・情報館」です。館内では気兼ねなく会話ができたり、コーヒーを片手にのんびりできたり、wi-fiが使えて仕事が捗ったり、ビジネスの相談までできます。中津市の図書館においても既存の図書館のイメージを払拭し、市民にとって使い勝手の良い情報センターに機能拡充できないものかと考えます。</p>